

新米おかあさん

「モシモシ おかあさん？」

受話器から若い女性の声

あらっ 間違い電話だわ と

一瞬 黙ってしまう

息子にお嫁さんが来た

男の子ばかり育てた私にとって

女の子の声で

「おかあさん」と 呼ばれるのは

初めてである

あわてて

「ハイハイ」と 応えながら

くすぐったいようになうれしさが

こみあげてくる

ある日

こちらから電話をする用が出来た

「わたしだけど」で わかるほど

まだ親しくない

「おかあさんよ」と 言っても

彼女には もう一人おかあさんがいる

あれこれ考えているうちに

彼女が電話に出た

とつさに

「ハイイ 新しいほうのおかあさんです」

ああ 私…

あがつてる…